

閉館期間の延長について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、図書館本館・帷子分館・桜ヶ丘分館・移動図書館ひまわり号は、**5月31日(日)まで** 閉館です。(状況により延長、または開館後も利用制限を行う場合があります。)

- * 現在貸出中で、閉館期間中に返却期限を迎えた本は、6月23日まで期限を延長しています。
- * インターネット予約の受付を停止しています。
- * 返却ポストは、閉館中も入れることができます。(何時でも可。CD、DVDは本と別に専用ポストがあります)
- * 6月1日(月)は通常休館日です。

市内の小・中学生、未就学児へ、図書の配送貸出します

休校・休園のため、自宅で過ごしている小中学生および未就学児に、読書を通して有意義な時間を過ごしてもらうため、図書の配送貸出をします。電話で予約を受付けし、図書を自宅のポストなどに配送します。決まった本がなくても、図書館司書のおすすめ本を用意します。

- 【対象】市内小中学生、未就学児(0才から可) ※受付時に学校名、年齢などをお聞きします
- 【受付時間】午前10時～午後5時 ※月曜日を除く
- 【予約方法】可児市立図書館本館に電話する(0574-62-5120)
- 【注意事項】児童の貸出カードの番号をお聞きします。未登録の場合は予約に合わせて作成します。発熱や味覚・嗅覚など体調異常がある場合は、予約できません。

職員による本の紹介特集

自宅で読める 不朽の名作をご紹介します ②

「青空文庫」(あおぞらぶんこ)で読めます。

青空文庫は、著作権が消滅した作品や著者が許諾した作品を公開しているインターネットの電子図書館です。たくさんの方の無償の働きで、無料で読むことができます。「青空文庫」(<https://www.aozora.gr.jp/>)をご覧ください。スマートフォンのアプリや既存の電子書籍サービスなどでも利用できます。所要時間は、読むのにかかるおおよその時間です。作品選びの参考にしてください。

「耳無芳一の話」 小泉八雲／著

所要時間 15分

子どもでも、目の不自由な芳一が耳を取られてしまった「こわいはなし」として知っている話ですが、原作を読んだことがありますか。原作は源平合戦についての記述から始まります。滅亡した平家の死者を慰めるため建立された阿彌陀寺に、優れた琵琶法師の芳一が住み始めます。そこには安徳天皇はじめ平家ゆかりの死者の墓がありました。芳一は深夜に何者かに連れられて立派な屋敷に行き、平家物語の「壇ノ浦の合戦」を語るように望まれ、言われた通りにしますが、実は……。 (桜ヶ丘分館 可児)

「麺くひ」 桂三木助／著

所要時間 2分

落語『芝浜』を得意とする桂三木助が、好きな「蕎麦」について、書いています。修行時代、関西はうどん、関東は蕎麦と思いきや、大阪の蕎麦の旨さに、驚いたそうです。蕎麦屋で、カレーライスやラーメンを売るのは、やめてもらいたい。「ざる」より、海苔を掛けない「もり」を注文するなど、同じ蕎麦好きとして、うなずいてしまいます。美味しい「蕎麦」ではなく、うまい「蕎麦」と表現しているのも、「うまい」ですね。「うまい」落語も聞いてみたかったな、と思います。(桜ヶ丘分館 松浦)

「ニールスとふしぎな旅」 ラーゲルレーヴ／著
矢崎源九郎／訳 所要時間 6時間

小人にされた主人公ニールスが、ガチョウのモルテンやがんの群れとともにスウェーデン中を旅する物語。さまざまな動物たちと触れ合い、助け合っていく中で、いたずらっ子のニールスが成長していく姿が描かれています。

青空文庫にあるのは、前半部分だけで後半はあらすじのみという初期の訳ですが、それでも十分楽しめます。とても長い物語ですが1日1篇ずつ、おうちにながらニールスとともにふしぎな冒険の旅にでかけてみませんか？ (帷子分館 長江)

「若草物語」 ルイーザ・メイ・オルコット／著
水谷まさる／訳 所要時間 3時間

舞台はアメリカ、19世紀南北戦争の頃。従軍牧師の父を待つ、4人姉妹が主人公。優しく美しく、家族思いのメグ、元気いっぱいの子の男の子のようなジョウ、引っ込み思案でピアノが大好きなベス、おしゃまで芸術的なエミイ。お金がないのはつらいけれど、家族で助け合って苦しい生活を乗り越えていきます。勝利した北軍側も生活は大変だったことが感慨深いです。子どもの頃ダイジェスト本で読んだことのある人も、改めてお読みになるとまた違った発見がありますよ。

(帷子分館 瀬尾)

「不思議な帽子」 豊島与志雄／著

所要時間 10分

大都会の大通りの下の下水道に悪魔が一匹住んでいました。ある日、下水道の掃除口が開いていたので、外を覗き初めて見る光景にびっくりしました。小さな子犬に化けた悪魔は散歩することにしました。夜もふけてもどろろとしたら、下水の蓋がかっちり締め切られていました。困った悪魔は、帽子屋に入り込み帽子に化けて一晩過ごします。そして、ハイカラな紳士に買われ下水の下に戻る機会をねらいます。悪魔は無事帰られるのかな？子どもたちの読み聞かせにおすすめです。(本館 溝口)

「どんぐりと山猫」 宮沢賢治／著

所要時間 5分

この物語は、主人公の少年、一郎に、山猫からおかしなはがきが届くところから始まります。それは裁判への招待状。行ってみると、なんと、無数のどんぐりが争う裁判でした。誰がえらいのか言い争うどんぐりたち。困っている裁判官役の山猫に、一郎は言います。「このなかでいちばんばかで、めちゃくちゃで、まるでなっていないようなのが、いちばんえらい」

人より優位に立とうとすることがいかに愚かしいか、一郎に教えられます。(桜ヶ丘分館 堀)

「入社辞」 夏目漱石／著

所要時間 5分

権威ある地位、安定した職である、大学教授の職を辞して、朝日新聞に入社する時の話をユーモア(辞めたのは、犬と図書館員が理由！?)を交えて書かれたエッセイ。

ユーモアだけでなく、何か書かないと生きて生けず、創作に専念したい漱石の覚悟が伝わってきます。

あの文豪漱石も仕事で悩んだと思うと親しみを感じます。(帷子分館 三浦)

「盗まれた手紙」 エドガー・アラン・ポー／著
佐々木直次郎／訳 所要時間 10分

大事な手紙が盗まれた。誰が盗んだかは、わかっている。大臣だ。手紙はまだ大臣の屋敷にある。家具の継ぎ目、庭、絨毯をはがした床、壁紙、屋敷中を針や拡大鏡でくまなく捜したが見つけれない。ついにパリの警視総監は、C・オーギュスト・デュパンのもとへ助言を求めてやってきた。デュパンはまず相手の性格・性質・頭脳を知ることだと解説し、あっさり手紙を取り戻した。

さて、手紙はどこにあったのか。後世の推理作家に大きな影響を与えた作品です。(本館 林)

「杜松(ねず)の樹」 グリム／著

中島孤島／訳

所要時間 5分

ある男の子が継母によって殺されます。その子の骨は、産みの母が埋葬された杜松の樹の下で、美しい鳥になって甦り、金工や靴屋の店先で歌います。「母さんがわたしを殺し 父さんがわたしを食べた 妹のマリちゃんが わたしの骨をのこらず拾って…」と、美しい声で歌うと、誰もが目をとめ、聞きほれます。やがて鳥は杜松の樹の庭に戻り、家族の前で歌います。

子ども向けの童話集には載らない、しかし有名な一話。残酷と言われますが、恐怖小説でも怪奇小説でもなく、やはり優れたメルヘンなのだと感じます。話のすじに無駄がなく、主人公の幸福が追求されていて、最後には腑に落ちるからでしょう。(本館 長谷川)

分類	書名	著者名	出版者名
情報・読書			
007.3/1/	新しい世界を生きるためのサイバー社会用語集 ネット世論操作をしている国はどこ？ サイバー社会の発達で民主主義はなくなる？ ネットを調べてもよくわからない＆専門家が解説書に書かない「サイバー社会」の今とこれからの、用語集の形でまとめる。	一田和樹／著	原書房
023.0/ミ/	パルプ・ノンフィクション やれるだけやっても、売れない。好きだけじゃ、仕事にならない…。原点回帰を標榜する野生派出版社・ミシマ社に押し寄せる荒波に追い詰められた男は、それでもこれからの面白い働き方を信じて奔走する！ 崖っぷち出版奮闘記。	三島邦弘／著	河出書房新社
159.7/ワ/	巣立っていく君へ母から息子への50の手紙 反省会より「どうするかい」。とどめを刺してはいけない。染まる「朱」を見極める。たとえ壁にぶつかっても乗り越えられる、大丈夫！ 親元を離れる息子に、今まで伝えきれなかった母からの思いを綴る。	若松亜紀／著	青春出版社
歴史・伝記			
210.0/ハ/	日本史を学ぶための図書館活用術 日本史を初めて学ぶ人に向けて、図書館にある辞典や年表、古代・中世史料の注釈書などの特徴と便利な活用方法をわかりやすく解説する。データベース活用法も紹介した、学生のレポート作成等に幅広く役立つガイドブック。	浜田久美子／著	吉川弘文館
281.0/ザ/	残念な死に方事典 猛将と讃えられた男でも、最期はあっけなかった！ 落ち武者狩りにあつた明智光秀、街でめった斬りにされた佐久間象山、地震で圧死した藤田東湖…。鎌倉時代から幕末までの武士の死に様をマンガを交えて紹介する。	小和田哲男／監修	ワニブックス
289.1/タ/	辰野勇 山登りは会社経営そのもの。命を懸けた冒険からすべてを学んだ。アウトドアメーカー「モンベル」を一代で築いた日本有数の登山家にして経営者の辰野勇がその哲学を語る。人生の先輩による語りおろし自伝シリーズ。	辰野勇／著	平凡社
社会			
366.8/ホ/	同僚は外国人。 急速に進む労働力の多様化と、それが日本人の生活にどう関わってくるのかを解説。「労働力」でなく「人間」である外国人をどう受け入れていくべきか、「外国人と向き合う最前線」から提言する。	細井聡／著	CCC メディアハウス
367.9/オ/	母ふたりで“かぞく”はじめました。 継母と継母で3人の子育て。ホント、大変！ 「結婚の自由をすべての人に」訴訟の原告でもあるバイセクシャルの著者が、パートナーと“かぞく”を作り、“結婚できない”仲間たちと立ち上がるまでを綴る。	小野春／著	講談社
自然科学・医学			
468.4/ナ/	えげつない!寄生生物 ゴキブリを奴隷のように仕えさせる宝石バチ、泳げないカマキリを入水自殺させるハリガネムシ…。寄生の中でも、宿主をマインドコントロールし、自己の都合の良いように操る技をもつ選りすぐりの寄生生物たちを紹介する。	成田聡子／著	新潮社
498.6/キ/	新型コロナウイルス 世界中で感染が拡大化している「新型コロナウイルス」。専門家会議メンバー12人のうちのひとりである岡部信彦氏監修のもと、新型コロナウイルスの感染予防・治療につながる正しい情報をわかりやすくまとめる。	木村良一／著	扶桑社
技術・家政			
519/ウ/	地球に住めなくなる日 気候変動の実態は思っているよりはるかに深刻で、現状のままでは多くの都市が浸水し、数億人が貧困にあえぐことになる…。いま何が起きているのか、気候変動により生活はどう変わるのか。近い将来に訪れる衝撃の世界を描く。	デイビッド・ウォレス・ウェルズ／著	NHK 出版
596.0/ア/	アガワ家の危ない食卓 「まずいものは食いたくない」がモットーの父。怒りん坊の亭主と子供達のために台所に立ち続けた母。毎食が波乱含みの一家の歴史を、食卓の情景で綴る。和田誠への追悼文も収録。	阿川佐和子／著	新潮社

- 723.3/バ/ **バンクシーを読む** 宝島社
 戦争や格差問題、政治家や権力を題材にしたストリート・アートを描き続けている覆面アーティスト「バンクシー」。出身地のイギリスで描いた初期の作品から、世界各地に残した有名作品・問題作品までを取り上げて解説する。
- 786.3/マ/ **心をいやす 2 人キャンプ** マツオカミキ／著 芸術新聞社
 ひとりでは不安、大勢でワイワイが苦手、興味はあるけど踏み出せない。そんなキャンプ初心者に向けた、「ふたりキャンプ」の指南書。道具やキャンプ場の選び方から、キャンプご飯、ルールやマナーなどを紹介する。

日本文学—小説

- 913.6/アペ/ **迷宮の月** 安部龍太郎／著 新潮社
 日本の安定のためにはこの外交交渉が不可欠だ。遣唐使・粟田真人は、使節団にすら打ち明けられぬ重要な機密を胸に、波濤を超え長安を目指す…。唐を舞台とする歴史情報小説。
- 913.6/イマ/ **木になった亜沙** 今村夏子／著 文藝春秋
 誰かに食べさせたい。願いがかなって杉の木に転生した亜沙は、わりばしになって若者と出会い…。奇妙で不穏で純粋な、3 つの愛の物語を収録する。
- 913.6/クサ/ **怖い患者** 久坂部羊／著 集英社
 いくつもの病院を渡り歩くドクターショッピング、介護施設で起こるおぞましい争い…。毒気に満ちた患者の怖さと最悪のどんでん返しが炸裂する! 現役医師がおくる、強烈にブラックな短編小説全 5 編を収録。
- 913.6/コン/ **焦眉 警視庁強行犯係・樋口顕** 今野敏／著 幻冬舎
 世田谷区の住宅街で男性が刺殺され、捜査一課の樋口顕も現場に急行。野党議員を内偵中の東京地検特捜部の検事・灰谷は、現場付近の防犯カメラに映っていた事実だけを理由に議員秘書を拘束し…。
- 913.6/ナカ/ **逃亡者** 中村文則／著 幻冬舎
 第二次大戦下、ある作戦を不穏な成功に導いたとされる美しきランペット。それを隠し持ち逃亡する男にはしかし、ある女性と交わした一つの「約束」があった-。
- 913.6/ヒガ/ **クスノキの番人** 東野圭吾／著 実業之日本社
 解雇された職場に盗みに入り逮捕された直井玲斗は、弁護士費用を支払ってくれた伯母から、クスノキの番人をするように命じられる。そのクスノキに祈れば、願いが叶うと言われていて…。
- 913.6/ムラ/ **天下取** 村木嵐／著 光文社
 武田、今川、北条の同盟で政略結婚をさせられた、3 人の姫。東の間の幸せは、家の対立によって崩れてしまい…。乱世の運命に呑まれながらも、力強く生きる女たちを描いた 6 つの短編集。
- 913.6/ユズ/ **暴虎の牙** 柚月裕子／著 KADOKAWA
 平成 16 年、懲役刑を受けて出所した沖が暴走を始めた矢先、かつて大上の薫陶を受けた呉原東署の刑事・日岡が沖に接近し…。『孤狼の血』シリーズ完結編。

日本文学—エッセイ

- 914.6/サワ/ **沢木耕太郎セッションズ〈訊いて、聴く〉 1、2** 沢木耕太郎／編著 岩波書店
 1 巻 : 吉本隆明、吉行淳之介、淀川長治、羽生善治ら多様な分野の先駆者 10 人と、人生を切り拓いていくその想いを語り合う。2 巻 : 長谷川和彦、武田鉄矢、吉永小百合、尾崎豊ら 10 人の青春の記憶、そして軌跡を進行形で語り合う。
- 914.6/セト/ **笑って生ききる** 瀬戸内寂聴／著 中央公論新社
 泣きたいときは辛抱しない。現世なんてサンドイッチのハムより薄い…。健康・夫婦・子育て・老い・人づきあい。迷ったら立ち戻りたい瀬戸内寂聴の熱く優しい希望のことばを、『婦人公論』掲載記事から厳選して紹介する。

<http://www.kani-lib.jp/>

スマート
 フォン用
 サイト



「図書館だより」2020 年臨時増刊号 No.2

発行：可児市立図書館 住所：〒509-0214 可児市広見 570-5

電話：(0574) 62-5120 FAX：(0574) 62-5303

※開館などについての最新情報は、図書館ホームページや、「すぐメールかにか 図書館だより」などでお知らせします。